

こっこめ通信 09 2016

「怠りなく準備する」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

植物公園内で開催していた「光るキノコ無料観察会」が無事に終了しました。22日と最終日の29日は台風の影響により観察会が中止になってしまいましたが、実施日数25日間で1921名の参加がありました。参加してくれた子供たちの中に、八丈島の光るキノコを題材にして自由研究をしてくれた子がいたら嬉しいです。

さて、今回は「台風に振り回された8月」「今年の子供クラフト教室は？」についてのお話です。

台風に振り回された8月

昨年は毎月発生していた台風ですが、今年は6月までひとつも発生しませんでした。そのツケが回ってきたかのように、7月以降発生数が多くなっています。8月に入るとマリアナ諸島周辺で発生する台風が増え、そのまま北上するコースが多くなりました。8月に発生した7つの台風のうち5つが北上するコースでした。

その中で一番八丈島に接近したのが**台風9号**。この台風は硫黄島付近から七島・硫黄島海嶺の上を北上し、伊豆諸島のすべての島を通過するという不思議なコースを辿りました。八丈島付近に差し掛かった22日に暴風域を伴うまでに発達し、午前1時23分に八重見ヶ原の観測地点で東北東の風・最大瞬間風速**50.9m/s**を記録しました。台風の北側には発達した雨雲があり、日最大1時間降水量**86.0mm**を記録し、8月の1位の記録を塗り替えました。その後吹き返しの風は思ったよりも吹きませんでした。接近時の強風と大雨により土砂の流出や木々の折れや倒れなどの被害が多数報告されています。植物公園内でも幹から折れてしまった木や折れてぶら下がっている枝がたくさんありました。台風後の数日は公園管理の職員が頑張って倒木処理をしてくれました。

そして八丈島の南で熱帯低気圧から台風へ成長した**台風10号**。この台風はその後進路を南へ変え、大東諸島周辺ではさらに成長を続け、いきなりUターン。生まれた八丈島に戻ってきた“ウミガメ”のような台風です。25日頃の進路予報は八丈島を直撃するコースでしたが、実際には小笠原と八丈島の間にいる鳥島近くを北東に進みました。29日午後3時頃の最接近時でも**330km**離れていましたが、南からはすごいパワーのうねりが押し寄せ、北東の風も強く長い時間吹き続けました。台風通過時の29日には八重見ヶ原で北東の風・最大瞬間風速**23.7m/s**、通過後には八丈島測候所で西南西の風・最大瞬間風速**26.1m/s**が観測されています。この台風での被害はありませんでしたが、もう少し島の近くを通過したら大きな被害が出ていたかもしれません。

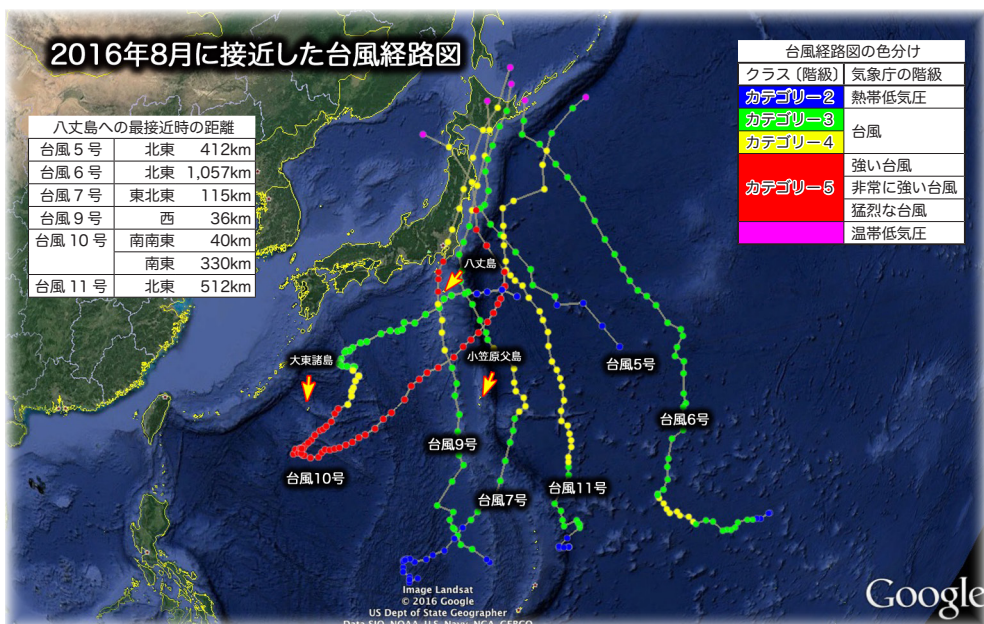
台風7号は島の東側を勢力を落としながら足早に通過したので、ビックリするくらい海が静かになるのが早かったです。

その他の台風はあまり発達することなく、島から離れていたため、影響はありませんでした。

今年の台風は例年と違う場所で発生し、違うコースを進んでくるので予測が難しいですね。ネットで早い段階から進路の予測もできてしまうため、心配が長く続いて困ります。9月・10月と台風シーズンはまだまだ続きます。**準備・対策はしっかりしたいと思います。**

2016年8月に接近した台風経路図

八丈島への最接近時の距離	
台風5号	北東 412km
台風6号	北東 1,057km
台風7号	東北東 115km
台風9号	西 36km
台風10号	南南東 40km
	南東 330km
台風11号	北東 512km



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

今年の子供クラフト教室は？

8月下旬の日曜日に毎年開催している子供クラフト教室。スタッフが楽しいクラフトを考え、**夏前から素材などを準備**して開催しています。今年は21日に「紙すき」、28日に「フォトフレーム作り」を行いました。

「紙すき～自然の色を楽しもう～」

紙すきは2年前の子供クラフトでも行った行事。牛乳パックからパルプを取り出し、植物の染料で色づけ、ハガキの大きさに漉すきました。

染料として使用した植物はキフゲットウ、ヨモギ、シマクサギの3種類で（写真①）、ピンク、キイロ、アオの色がつきます。染料は事前に煮詰めたものを用意し、ハイビスカスの葉を揉み出した液を糊材として加えています。

子供たちの作業は牛乳パックからパルプを取り出す体験（写真②）、パルプを染液に溶かす作業（写真③）、紙を漉く作業（写真④）、その後脱水し、アイロンをかけて水分を飛ばし、完成です（写真⑤）。小学生の行事のため、高温になるアイロン掛けはボランティアの方々をお願いしています。

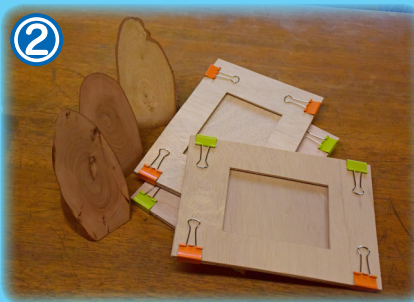
今年も染液に溶かしたパルプの量が多すぎ、漉くという作業が敷き詰めるとい感じになってしまいました。それでも子供たちはとても楽しそうに作業をしていました。次回は大人向けの紙すきも検討したいと思います。



「夏の思い出 フォトフレームを作ろう！」

フォトフレームを作る行事も過去に開催しましたが、今回は少しバージョンアップ！フレーム自体をベニヤ板で作成し、端材を利用し角度を付けられるようにしました（写真②）。フレームに付ける材料（写真①）もビーチコーミングで拾い、事前準備は完璧でした。しかし台風の影響もあり、予定よりも早く島を離れる方が多かったのか、参加者が3人と少なかったのが心残りです。

作業は3枚のフレームを木工ボンドで糊付けし、自分の好きな色を塗ることから始まりました。乾かしている間にフレームに付ける材料を選びました。一番人気は、割れたガラスが波によって削られた青や白、茶色などのビーチグラス。フジツボの殻やハリセンボンの棘も！今回の参加者は低学年ばかりで保護者の方にサポートしてもらいホットボンドで貼り付けました。小さい素材を選んで少し大変だったようですが、すばらしい作品に仕上がりました（写真③④⑤）。フレームに入れた写真はビジターセンターからのプレゼントです。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は8月14日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成28年第8回） 参加者：茂手木、青木、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			草本			シダ植物		
1	アオツツラフジ	花	31	ハイメドハギ	花	1	オオイタチシダ	
2	アオノクマタケラン	若い実	32	ハキダメギク	花と実	2	オオタニワタリ	
3	アメリカスズメノヒエ	実	33	ハナイバナ	花	3	オニヤブソテツ	
4	イガガヤツリ	実	34	ヒナギキョウ	花と実	4	カニクサ	
5	イヌガラシ	花と実	35	ヒメクグ	実	5	タチクラマゴケ	
6	イヌタデ	花	36	ヒメヨツバムグラ	花と実	6	タチシノブ	
7	イワニガナ	花	37	ブラジルコミカンソウ	花と実	7	タマシダ	
8	ウスベニニガナ	花	38	ホソバツルメヒシバ	実	8	ナチシケシダ	
9	ウラジロチチコグサ	花と実	39	メヒシバ	実	9	ノキシノブ	
10	ウリクサ	花と実	40	ヤハズソウ	花	10	ハチジョウカナワラビ	
11	オオアレチノギク	花	41	ヤブガラシ	花	11	ハチジョウシダ	
12	オオバコ	実	42	ヤマイ	実	12	ハチジョウベニシダ	
13	オニタビラコ	花と実				13	ヒトツバ	
14	オヒシバ	実	木本			14	ホシダ	
15	カタバミ	花と実	1	イヌビワ	実	15	ホラシノブ	
16	カヤツリグサ	実	2	エノキ	実	16	マメツタ	
17	クルマバザクロソウ	花と実	3	オオムラサキシキブ	若い実	17	ミゾシダ	
18	コゴメガヤツリ	実	4	ガクアジサイ	若い実	18	ヤマイトチシダ	
19	コニシキソウ	花と実	5	シマクサギ	花	19	ワラビ	
20	コマツヨイグサ	実	6	スダジイ	実の虫こぶ	今回はシダ植物 19 種を含む 75 種の植物を観察しました。植物公園も夏まっただ中で、かなり大きくなったスズミグモの巣がいくつか見られました。またカラスバトが一カ所から 3 羽も飛び立つ姿が観察できました。		
21	コミカンソウ	花と実	7	トベラ	実			
22	ザクロソウ	花と実	8	ハゼノキ	実			
23	シチトウスミレ	閉鎖花	9	ヒサカキ	若い実			
24	シマスズメノヒエ	実	10	ヒメユズリハ	若い実			
25	タチスズメノヒエ	実	11	ハウライカズラ	蕾			
26	テリハノブドウ	若い実	12	ホルトノキ	若い実			
27	テンツキ	実	13	モチノキ	実			
28	トウバナ	花と実	14	ヤブニッケイ	若い実			
29	トキワハゼ	花						
30	トゲナシサルトリイバラ	蕾						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、園芸品種の「キフゲットウ」にスポットを当ててみたいと思います。



キフゲットウ *Alpinia zerumbet* 'Variegata'

ショウガ科のゲットウに黄色い斑が入っている園芸品種。

八丈島では鉢植えや切り葉として栽培しています。植物公園内にもたくさん植えられ、6月下旬から7月上旬にかけて花を咲かせます。

園芸品種ですが、種からも斑の入ったキフゲットウがでできます。

前ページの紙すきで、ピンク色の染料として使用しています。

2016 八丈ビジターセンター 9 フ로그램カレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		● 1 05 : 18 11 : 47 18 : 16	2 05 : 56 00 : 04 18 : 41 12 : 19	3 ガイドウォーク 06 : 32 00 : 34 19 : 05 12 : 48
4 ガイドウォーク 07 : 07 01 : 03 19 : 28 13 : 15	5 07 : 42 01 : 34 19 : 51 13 : 42	6 08 : 18 02 : 06 20 : 16 14 : 09	白露 7 09 : 00 02 : 42 20 : 42 14 : 38	8 09 : 51 03 : 24 21 : 12 15 : 11	☾ 9 11 : 05 04 : 18 21 : 53 15 : 56	10 ガイドウォーク 13 : 03 05 : 34 23 : 06 17 : 27
11 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 07 : 06 01 : 03 14 : 44 19 : 52	12 00 : 57 08 : 23 15 : 37 21 : 09	13 02 : 22 09 : 19 16 : 14 21 : 54	14 03 : 22 10 : 04 16 : 47 22 : 31	15 04 : 12 10 : 45 17 : 18 23 : 07	16 04 : 58 11 : 24 17 : 49 23 : 43	☉ 17 ガイドウォーク 05 : 43 12 : 03 18 : 21
18 ガイドウォーク 06 : 29 00 : 21 18 : 52 12 : 41	19 ガイドウォーク 07 : 15 01 : 00 19 : 24 13 : 19	20 08 : 03 01 : 42 19 : 56 13 : 57	21 08 : 56 02 : 27 20 : 30 14 : 36	秋分 22 ガイドウォーク 09 : 58 03 : 18 21 : 08 15 : 20	☾ 23 11 : 23 04 : 19 22 : 00 16 : 23	24 ガイドウォーク 八丈学講座 「裏見ヶ滝自然観察会」 13 : 21 05 : 39 23 : 33 18 : 29
25 ガイドウォーク 07 : 13 01 : 00 14 : 52 20 : 32	26 01 : 30 08 : 31 15 : 40 21 : 31	27 02 : 51 09 : 28 16 : 15 22 : 09	28 03 : 47 10 : 12 16 : 44 22 : 42	29 04 : 32 10 : 49 17 : 10 23 : 12	30 05 : 11 11 : 22 17 : 35 23 : 40	

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

9 / 11 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員 : 15 名

八丈学講座

「裏見ヶ滝自然観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は、裏見ヶ滝から都道までを歩きながら自然観察をします。

9 / 24 (13 : 30 ~ 約 1 時間半) 中学生以上
裏見ヶ滝温泉集合・解散 参加費 : 50 円 定員 : 15 名

ビデオプログラム

10 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

11 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

14 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

15 : 00 ~ おじゃりやれ 八丈島

16 : 00 ~ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2016.9.1 第 184 号

開館時間 9 : 00 ~ 16 : 45 年中無休 (入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷 2 8 4 3

電話 : 04996-2-4811 Fax : 04996-2-4888

編集後記

台風が島の東側を通るのか？西側を通るのか？ちょっとした違いですが被害はまったく違います。今回、台風 10 号が島の東側を通ることと分かるまではドキドキでした。「これだけの台風が島の西側を通過したら」と考えるだけで冷や汗が出てきます。(高)